

# Skinny Shot

1966 Harley-Davidson FLH

Designed by TANIMACHIBA FUTABAKAN  
Built by SOUICHI OKAWA  
Photos by Fly Wheels

Special Thanks to  
SURE SHOT  
Tel: 445-0077  
www.sureshot.jp



## 絶妙なバランス感覚と 緻密なフィニッシュの融合

ビルダーのしなやかな感性が生んだ絶妙なバランスを保つジェネレーターシャベル・チョッパー“Skinny Shot”。けっして派手さはないが、均整の取れたフォルムとことさらに主張させない洗ったディテール……これこそが「SURE SHOT」というショップの持ち味であり、真骨頂といえる。

見せ場となるのは各部のディテールで、フロントフォークはヴィンテージのスプリングをチョップし、74スプリングをバラしたパーツとワンオフのパーツを組み合わせることで極限までナロードしている。このオフセットの大きいスプリングフォークに合わせて、トレール量を算出してフォークロッカーをワンオフ製作。当然ながらフューエルタンクやハンドルバー、リアフェンダーなどのエクステリアも全てハンドメイドによるもので、特にシートはスプリングを水平に取り付けたいがために複雑なリンクagesを製作するなど、目立たない細部に至るまで非常に繊細なクリエイションが随所に発揮された

チョッパーとなっているのだ。

さらにこのチョッパーの完成度は、ナローズスプリングからハイドラ純正フレーム、リヤ18インチ・ウィールへの流れるようなアウトラインからも認識できる。車体の最大幅を出せるだけフレーム内に収められるよう、オイルタンクを加工してサイレンサーを内側へ追い込み、この水平デザインのマフラーに合わせてタンクやフレームのガセットをトータルでデザインすることで、流れるようなラインを形成している。こうした手間暇かけた緻密なフィニッシュによって、独特の端正なスタイリングを生み出すと同時に、カスタムの完成度が高められているというわけだ。これぞバランスの妙味。

もちろんルックスのみならず、走りにおいても完調と呼べるコンディションが与えられており、あえて2スロットではなく、EVO用のHOLLEY 2バレル・キャブレターをワンオフのマニフォールドに取り付け、ホットな走りを実現している。

遊び心を踏まえた上で徹底的に手を加えることで、ベース車両が持つ真の美しさを引き出した“Skinny Shot”。SURE SHOT 特有の世界観が投影された珠玉のチョッパーといえる。



①ハンドルはクラップ式のボストンが使えるようにストレートバーにし、6の異なるパイプを組み合わせて製作。レバーはワンオフのトップブリッジに付いている。②スポーツスターとコフィンのデザインを合わせたワンオフタンク。ロゴは RFD STUDIO。フレームメインチューブ下のサブフレームは取付式にし、水平に取り付けられるようワンオフ。タンクサイドシフターもワンオフ。③ワンオフのステップ

リンガーキベースに、74 スプリングをバラしたパーツとワンオフパーツを組み合わせることで懸架システムロード。ハブはドゥームベットのオプティオン。④レザー製シートは STUDIO WORKS のワンオフ。⑤シートスプリングを水平にマウントするため複雑なリンクages を製作。⑥ FIRESTONE の 18 インチ・タイヤに合わせてリアエンダーもワンオフ。エンド部にドレッドに合わせて取り付け心。

⑦ DM したジェネレーター・シャベルヘッドモーター。⑧ワンオフのインテークマニフォールドで、EVO 用の HOLLEY 2バルブ・キャブレターを装着し、ワンオフ・ファンネルをセット。あえて非ジュニア2スロットではなく、2バルブをチョイス

したところがポイントだ。⑨扁平デザインのマフラーは、車体の最大幅を出るだけフレーム内に収められるよう、オイルタンクをスグらうに加工してサイレンサーを内側へ追い込んでいる。前後延長になるように取り付け直しも考慮した。